



活用しませんか？

氷川町人材育成研修助成制度

この制度は、町民が自主的に行う人材育成研修に対して助成を行い、その成果をもって町の発展に寄与することを目的としています。

研修により、「町が抱える問題を解決したい!」、「町をもっと元気にしたい!」という人は、ぜひ活用をご検討ください。

1. 対象研修

助成の対象となる研修は、国内外の先進地での研修、調査および視察で、以下のいずれかの目的のために実施するものとします。

- (1) 教育、文化および産業などの分野で、視野を広め、知識や技術などを身に付けるため
- (2) 地域が抱える課題解決の手法を体得するため

※研修後の町内への波及効果が期待できないものや助成意義が薄いものなどは助成の対象とならない場合があります。

2. 対象者

助成を受けることができる人は、次のいずれの要件も満たす人としてします。

- (1) 町内に居住し、申請時点で満年齢 60 歳以下の人
- (2) 地域活動や団体活動に参加するなど、帰町後その成果を積極的に生かしていると認められる人
- (3) 過去 3 年以内に本助成金の交付を受けていない人

※ただし、同一の研修への申込は 5 人以内です。

3. 助成額

交通費、宿泊費の実費額(条例で定められた額を上限)、研修に必要と認められる費用を対象とし、その 7 割以内の額を助成します。ただし、国内研修の場合は 10 万円、国外研修の場合は 30 万円が上限です。(1 千円未満は切捨て)

※助成の適否は、氷川町人材育成派遣研修選考委員会において審査されます。

4. 申請方法

助成制度を利用したい人は、申請書の提出が必要です。制度内容や申請書提出時に必要な書類の説明を行いますので、詳しくはお問い合わせください。

5. 申請期限

令和 2 年 1 月 31 日 (金)

☎ 宮原振興局 地域振興課 地域振興係 ☎ 62-2311

けんこうだより

今注目の循環器病とは??

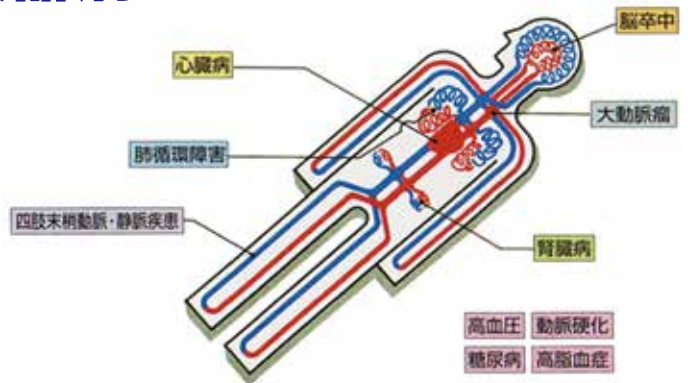
循環器病とは、

心臓病、脳卒中、高血圧に代表されるように、
血液の流れが原因で起こる諸臓器の病気



なぜ今「循環器病」の予防なのか？

- ①がんの次に多い死因
- ②医療費が高額
- ③後遺症により生活の質が下がる
介護保険など社会保障費に影響



※平成30年12月に「脳卒中循環器対策基本法」が施行されました。

氷川町に当てはめて考えてみました

がんの次に
多い病気なの？

- 1位 **がん**
- 2位 **脳血管疾患**
- 3位 **心臓病**

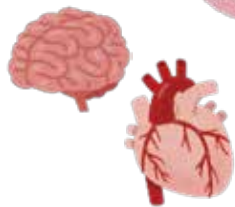
氷川町もがんの次に多い
死因であることがわかりました

※KDB 氷川町地域の全体像の把握 H30 累計より

医療費が
高額になるの？

医療費100万円/月以上は
1年間で、**12人 19件** ありました

高額医療費になるのは、
脳と心臓の病気であることがわかりました



脳梗塞	4人	6件	(1件当たり 111万)
脳出血	4人	8件	(1件当たり 117万)
くも膜下出血	1人	1件	(1件当たり 306万)
虚血性心疾患	3人	4件	(1件当たり 143万)

※データヘルス支援システム 高額医療者集計リストより H30.4～H31.3 主病で条件設定



介護保険を使う
原因になるの？

介護保険を利用する大きな要因になっていることがわかりました

【有病状況】

- 1 脳疾患 45.6%
- 2 心臓病 42.2%
- 3 精神疾患 25.6%
- 4 筋骨疾患 24.4%
- 5 糖尿病 23.3%

脳疾患後の
後遺症も
含みます

【有病状況】

- 1 心臓病 72.4%
- 2 筋骨疾患 62.1%
- 3 精神疾患 46.6%
- 4 脳疾患 22.8%
- 5 糖尿病 22.6%

脳疾患後の
後遺症も
含みます



2号被保険者(40～64歳)

※KDB 要介護(支援)者有病状況 H30累計より



1号被保険者(65歳以上)

【お問い合わせ】町民課 保健予防係 (健康センター内) ☎52-7154